

地盤調査規格・基準委員会

平成28年度第1回 議事録

日時	平成28年8月10日（水）14:00～17:00		場所	地盤工学会 会議室				
委員長	末政 直晃	○	幹事（岩）			幹事（土）	浜田 英治	○
委員	久内 伸夫	○	WG1委員	窪田 健二	×	WG2委員	辻野 敏文	○
WG2委員	中野 義仁	×	WG3委員	竹内 真司	×	WG3委員	小松 満	○
WG4委員	平林 弘	○	WG5委員	小早川 博亮	○	WG5委員	百瀬 忍	×
WG6委員	藤田 智弘	○	WG7委員	浅井 健一	○	WG7委員	吉田 輝	×
WG8委員	伊藤 圭二郎	○	WG9委員	長田 昌彦	×	WG10委員	杉井 俊夫	
WG10委員	細谷 真一		WG11委員	平林 弘:兼務	○	WG13(幹事)	横山 幸也	

○：出席 ◎：代理出席 ×：欠席 △：未定

配布資料

委員会名	資料	資料の有無・番号
地盤調査規格・基準委員会	・ 前回議事録（H28-02-25）	・ 資料28-1-1
基準部会	・ H27第6回（H28. 03. 01）議事録 ・ H28第1回（H28. 04. 26）議事録 ・ H28第2回（H28. 07. 05）議事録	・ 資料28-1-2 ・ 資料28-1-3 ・ 資料28-1-4
地盤調査規格・基準委員会	・ H28年度のメンバー表	・ 資料28-1-5
ワーキング3	・ WG3活動報告	・ 資料28-1-6
	・ 2016年度版 地下水調査に用いる井戸理論	・ 資料28-1-7
ワーキング10	・ 地下水面上の透水試験法基準化への意見	・ 資料28-1-8
基準部会	・ H27_6基準部会資料（JIS原案作成委員会）	・ 資料28-1-9
WG11, 事務局	・ JIS原案作成概要調査書H28【動的コーン】	・ 資料28-1-10
	・ JIS原案委員会開催日程・名簿H28【動的コーン】	・ 資料28-1-11
基準部会（英訳実行委員会）	・ 英訳作業進捗状況_更新用（地盤調査）	・ 資料28-1-12
会員からの質問	・ 標準貫入試験	・ 資料28-1-13
	・ 動的コーン貫入試験	・ 資料28-1-14
	・ 平板載荷試験	・ 資料28-1-15

審議事項

- (1) 「2016年度版 地下水調査に用いる井戸理論」の地盤工学会ウェブサイトへの公開について
(資料28-1-7)

・ 浜田幹事より、以下の説明があった。

→本議案は昨年度の基準部会で承認された案件だが、公開方法について事務局より、電子図書室は未だ整備中であることや会員以外には閲覧できないため、会員以外にも公開可能であればウェブサイト公開にしたらどうかとの提案があった。これを受けて今回再度審議することとした。

- ・小松委員より公開資料の概要について説明があった。またワーキング内では、ウェブサイトによる無償での提供（ダウンロード）についての意向は特に無いが、一般公開の可否についてはワーキングに持ち帰って検討するとの説明があった。
- ・これについて、委員より以下の意見が出された。
 - ウェブサイトにすると更新やメンテナンス等の管理が大変ではないか。
 - 小松委員：更新の頻度はさほど多くないので、特に問題ないと考える。
 - 参考文献までダウンロードできてもいいのか。
 - 小松委員：参考文献はリストだけ閲覧するようにしたい。
 - 学会誌の講座にしてもよいのではないか。
 - 小松委員：ワーキングで一度検討したが、誘導式や理論式が主な内容になるので、実務的な講座にはなりにくい、との結論となった。
- ・以上の審議の結果、本議案は承認された。次回委員会で公開する原稿の最終案が承認されてから、基準部に上申することとした。

→**基準部会での審議事項（公開原稿の承認後）**

報告事項

- (1) 前回議事録確認（メール審議で承認済み）（資料28-1-1）
 - ・特に異議なし。
- (2) H27第6回の基準部会議事録（メール配信にて報告済み）（資料28-1-2）
 - ・特に異議なし。
- (3) H28第1回の基準部会議事録（資料28-1-3）
 - ・特に異議なし。
- (4) H28第2回の基準部会議事録（資料28-1-4）
 - ・特に異議なし。
- (5) H28年度の地盤調査規格・基準委員会のメンバー表（資料28-1-5）
 - ・浜田幹事より、基準部会で承認されたH28年度の地盤調査規格・基準委員会のメンバー表について説明があった。
 - 特に異議なし。
- (6) ワーキング3活動報告「議事録」（資料28-1-6）
 - ・小松委員より、議事録に基づいてワーキング3の活動報告がなされた。
 - 特に異議なし。
- (7) ワーキング10「地下水面上の透水試験法基準化への意見」について（資料28-1-8）
 - ・小松委員より、会員からの「地下水面上の透水試験法基準化への意見」について、以下の説明があった。
 - この意見書は、今回公示している透水試験法について当初から係わっておられた関係者からであり、現在のワーキングでの活動についての意見交換がなかったことに起因している。試験法に関する意見や指摘事項については、質問者に説明しながら対応する。
 - ・この意見書では新基準の制定プロセスに対する意見もされているが、これについては先の基準部会に報告済みで、特に対応の必要なしとの審議結果であった（浜田幹事）。
 - ・本件については、特に異議なし。
- (8) H27_6基準部会資料（JIS原案作成委員会）（資料28-1-9）
 - ・浜田幹事より、基準部会で承認された「JIS原案作成委員会」について説明があった。
 - ・これについて、委員より以下の意見が出された。
 - 参考資料-1の（国研）土木研究所は、「使用消費者」ではなく、「中立者」ではないか。
 - 浜田幹事：土木研究所は「中立者」が正解です。
 - 添付資料1.の冒頭の「従前は、「学会基準委員会」＝「JIS 原案作成委員会」であったが」の意味は？

- 以前JIS化に係わった委員からの回答：以前は基準化を担当した委員会のメンバーがJIS原案作成委員会も兼務していたが、委員構成のバランスが悪かったという経緯があった。
- ・その他は特に異議なし。

(9) 動的コーンのJIS化について

JIS原案作成概要調査書H28【動的コーン】 (資料28-1-10)

- ・動的コーンWGの平林委員より、資料の説明があった。
→特に異議なし。

JIS原案委員会開催日程・名簿H28【動的コーン】 (資料28-1-11)

- ・浜田幹事より、資料の説明があった。これについて、委員より以下の意見が出された。これらについて本委員会後、事務局に以下の通り確認した。

→委員の種別が中になっているが？

事務局確認：提出先の日本規格協会（JSA）から、最初は委員全員（中）にしておくようにとの指示であった。

→謝金・交通費の根拠は？

事務局確認：予算申請のために謝金・交通費を仮に割り当てているが、個々の委員との整合はない。

→本委員会が年3回のスケジュールになっているが、すべて会合するのか。

事務局確認：メール審議でもよいが、1回は開催した方がよいようである。

→JIS原案等の成果物は、契約期間終了の1ヶ月前の提出となっているが、今後はどのようなスケジュールとなるのか。

事務局確認：今年度8/1付の契約となるので、来年の7月には学会誌に公示（学会員意見照会）

した後の最終案を提出する必要がある。それに合わせて、地盤調査委員会・原案作成委員会の承認→基準部の承認→理事会報告→学会誌公示→最終案承認のスケジュールとなる。

(10) 英訳作業進捗状況_更新用（地盤調査） (資料28-1-12)

- ・浜田幹事より、資料の説明があった。
→特に異議なし。

(11) 会員からの質問と回答

①標準貫入試験 (資料28-1-13)

- ・WG4（サウンディング）の平林委員より、資料の説明があった。
→特に異議なし。

②動的コーン貫入試験 (資料28-1-14)

- ・同上、平林委員より、資料の説明があった。
→特に異議なし。

③平板載荷試験 (資料28-1-15)

- ・浜田幹事より、資料の説明があった。本件は会員からの意見であったが、調査方法に関する質問ではなかったため、事務局からの回答とした。
→特に異議なし。

その他

(1) WG6の代理出席について

- ・WG6幹事の藤田委員より、H28. 9. 1～H29. 8. 31間海外赴任となるので、下記の方に代理出席をお願いしたいとの要望があった。

代理出席者：曾田 英揮（独立行政法人 水資源機構 総合技術センター 試験・解析グループ）

→特に異議はなかったため、本件は承認された。

※事務局確認：代理出席なので基準部の承認は不要。

(2) 新規基準化WGの設立について

- WG5の小早川委員より、新規試験の基準化の手順についての問い合わせがあった。
これについては1)既存のWG内にて基準化のための準備をしていただき、2)必要性、活動内容、組織等を明記した「新規基準化WG設立趣意書」を本委員会に提出することで進めることとした。基準化検討のためのWGメンバー増員を必要に応じて実施することとした。

以上